

ブロック塀の自己点検をお願いします

～地震で被害を出さないために～

ブロック塀は、プライバシーの確保、防犯などに重要な役割を果たしていますが、地震が起きた場合、倒壊や落下などで人命を脅かす可能性があります。

このため、所有者の責任で普段から適切にブロック塀を管理する必要があります。ご自宅のブロック塀が人命に関わる被害を出さないためにも、自己点検をしましょう。

点検の結果、危険性が確認された場合は、通行者への速やかな注意表示をお願いします。また、補修や撤去などが必要となる可能性もありますので、一度専門家に相談ください。

問 都市整備課 都市計画係 ☎32-1694

ブロック塀点検のチェックポイント

まず外観で1～5をチェックし、一つでも不具合がある場合や分からないことがある場合は、専門家に相談してみましょう。

□1 塀は高すぎないか

- ・塀の高さは地盤から2.2m以下か

□2 塀の厚さは十分か

- ・塀の厚さは10cm 以上か
(塀の高さが2m超2.2m以下では15cm 以上か)

□3 控え壁はあるか

- (塀の高さが1.2mを超える場合)
・塀の長さが3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか

□4 基礎があるか

- ・コンクリートの基礎があるか

□5 塀は健全か

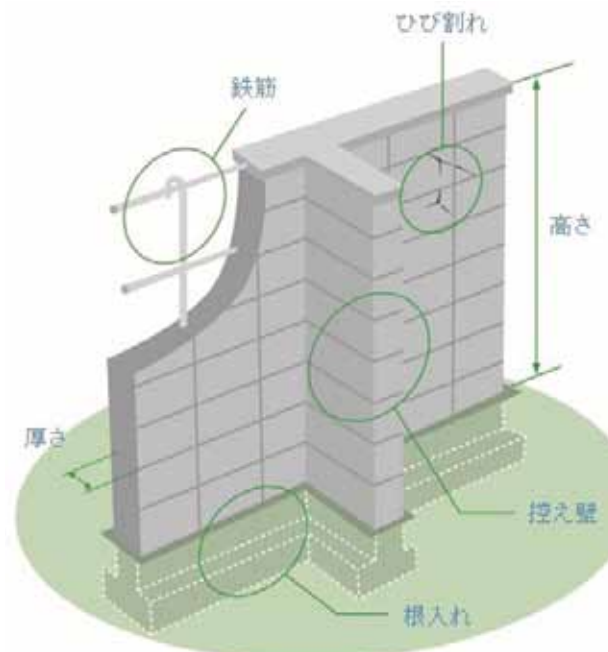
- ・塀に傾きや、ひび割れはないか

<ここは専門家に相談しましょう>

□6 塀に鉄筋が入っているか

- ・塀の中に直径9mm 以上の鉄筋が、縦横とも80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部と基礎の横筋に、横筋は縦筋に、それぞれかぎ掛けされているか。
・基礎の根入れ深さは30cm 以上か(塀の高さが1.2mを超える場合)

点検チェックポイントは
こちらから確認できます⇒



出典「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会

れんが造、石造、鉄筋のないブロック造など
組積造である塀の場合は、次のチェックポイントで点検してください。

- 1 塀の高さは地盤から1.2m以下か
- 2 塀の厚さは十分か
- 3 控え壁はあるか
・塀の長さが4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか
- 4 基礎があるか
- 5 塀に傾きやひび割れはないか
- <ここは専門家に相談しましょう>
- 6 基礎の根入れ深さは20cm 以上か

気象情報や避難所情報などは、次の方法からも確認できます。登録をお願いします。

宇城市情報メール

携帯電話やパソコンのメール機能を活用し、防災情報など役立つ情報を迅速かつ正確にお知らせするシステムです。



LINE@ 宇城市公式アカウント

携帯電話向け無料アプリ「LINE(ライン)」の公式アカウントではイベントや行政情報、防災情報など発信しています。



熊本県防災情報メール

熊本県に関する防災情報などをメールで受けることができます。最新の気象情報、避難情報などが即時に送信されます。



気象庁 洪水警報の危険度分布

洪水警報の危険度分布は、洪水警報を補足する情報で、どこで危険度が高まるかを面的に確認できます。



台風に向けて準備をしましょう

今年も台風シーズンを迎えています。宇城市を含む九州北部地方は、例年6～10月にかけて台風が接近します。台風の接近に伴い風が強くなると、屋外に置いてあるものが飛ばされてしまい、窓ガラスや車などに被害をもたらすことがあります。

屋外にある飛びやすいものは、飛ばされないように固定したり、屋内に片付けたりするなど強風への対策をお願いします。

問 防災消防課 ☎32-1766

リモコンのdボタンで防災情報を確認

全国的に豪雨などの災害が続いています。命を守るためには、気象情報の収集が欠かせません。

テレビのデータ放送では、簡単なボタン操作できめ細かい防災情報を、いつでも確認することができます。

NHK熊本放送局の場合

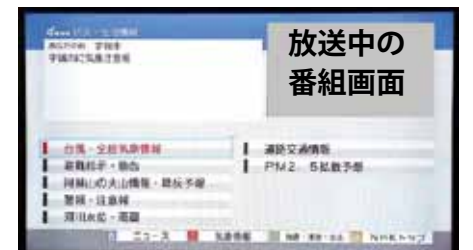
手順1 データ放送へ切り替え

チャンネル「1」を選択し、リモコンの「d」ボタンを押すとデータ放送が表示されます。(元に戻るときも「d」ボタンで戻ります)



手順2 メニューの選択

リモコンの上下左右ボタンで、画面右側の「防災・生活情報」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



手順3 見たい情報を選ぶ

リモコンの上下ボタンで見たい項目(「警報・注意報」など)を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押します。



警報・注意報画面